

特31

80

東都家事記

秋

四

江戸歳事記卷之三秋之部

七月

朔日○本所羅漢禪寺施威鬼セガキ今日より晦日追修行

毎日羅漢供養
盃蘭盆経诵读

十六日廿八日晦日大せうさ修行川せうさ今な修行中四方のた修群多し

○当月の諸事既水陸舎修りありて悉く祀り済みぬるよし一二と悉く

○水道橋之傍橋筋住より施威の村葉切多と出せ八月二の午の件あり

○同是不動より南中延八幡宮靈宝出拂兼説法添頼義船匠高八幡宮神像誠我家
船匠・浪舟人のゆあり

二日○煤拂出掛今日より十三日までの間晴天と擇ひ屋中の煤を拂ひ又新嘉浪類
當物木の出掛をむら高敷より家の茶も幕を捲りて高ひりのとまり居る院所交判
神社の灵宝曝涼を日限とて定り有て内縁をゆす

五日○本所回向院より子住小栢系の別院ふ於て大施威鬼修行

刑死の族魂魂滞脱の毒よりふとてあり

六日○今結末船より毎家屋上より短冊竹をまきり繋ぐ市中ふ八工とをりてつらくの
作り物とありて人々ももま高く出りて人の足りのとまきりて年のまきり

七日○七夕シツヒキ祈祝後諸侯白帷カクシ子みて祈礼イノリ今新嘉徳付おとくは二星よ

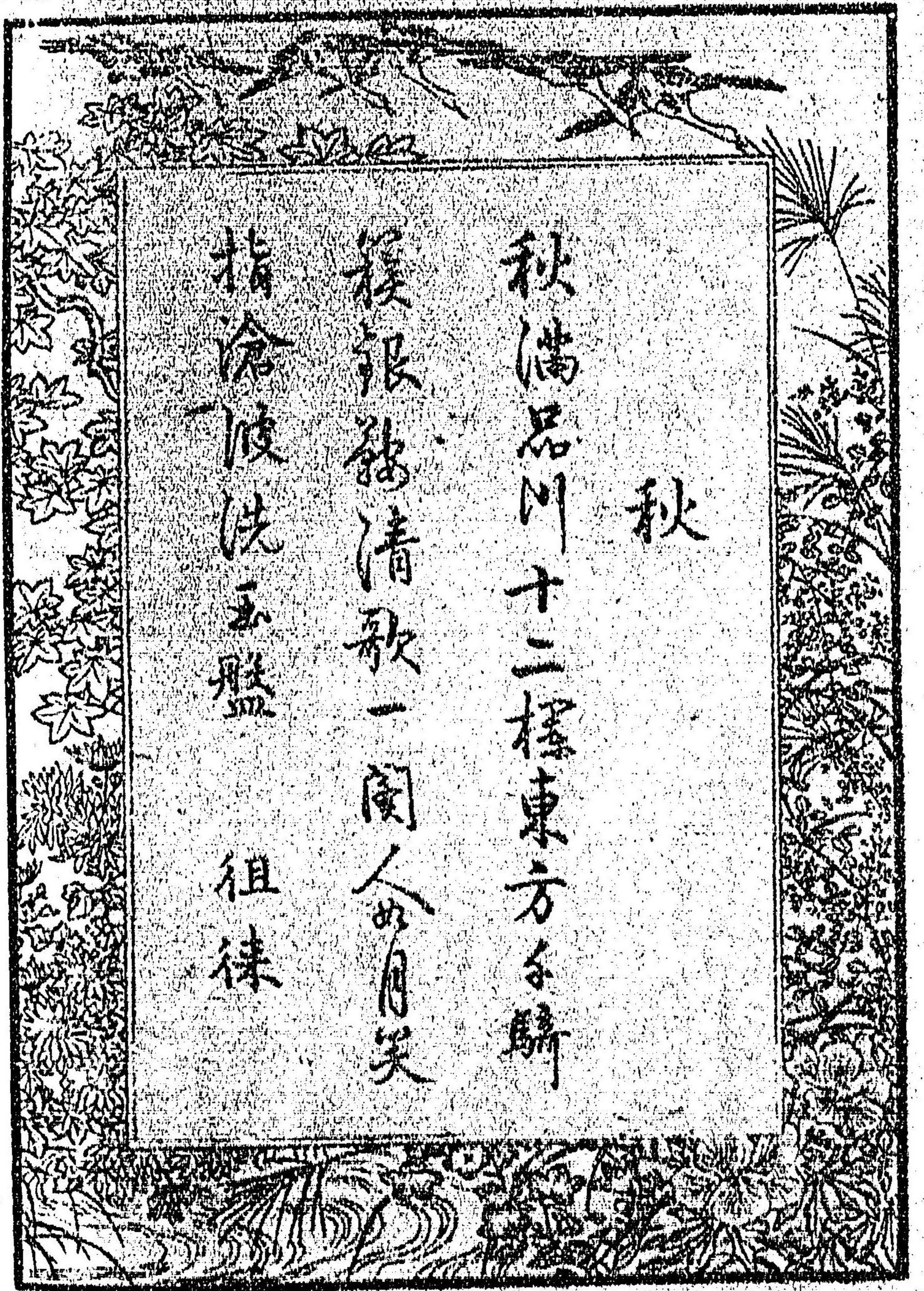
東都歳事記

卷三

一

一

一



江戸歳事記卷之三秋之部

七月

朔日○本所羅漢禪寺施威鬼セガキ今日より晦日迄修行

毎日羅漢供養
盃蘭金経読誦

十六日女六日

○施威鬼の修行
大せうき修行の川せきまへ今なり修行中四方の住僧群多し
陸舎修行ありて悉く祀り演説ありまゝ一二と巻く

○水遣

水遣は修行の仕より施威の神業切多とせ八月二の午の併りあり

○同日

同日は八幡宮霊宝出掛英説法法頼義住高八幡六神像成表家

○同日

同日は十三日まぐの同晴天と擇ひ屋中の焼と掃ひ又香を焚く

○同日

同日は高おみやの家の茶と暮と捲りて高ひりのとさうりて院乃交部

四日○本所回向院より子住小柄原の別院ふ於て大施威鬼修行

刑死の族迷魂濟脱の考よりふとてあり

刑死の族迷魂濟脱の考よりふとてあり

吉川惟足

六日○今朝未のより毒草屋より短冊竹を多き勢く市中ふハ工とそいでりての

七日○七夕シツキ祈祝後諸度白帷カドヒラ子みて祈礼

今朝を修はあつて祈りて二里まで

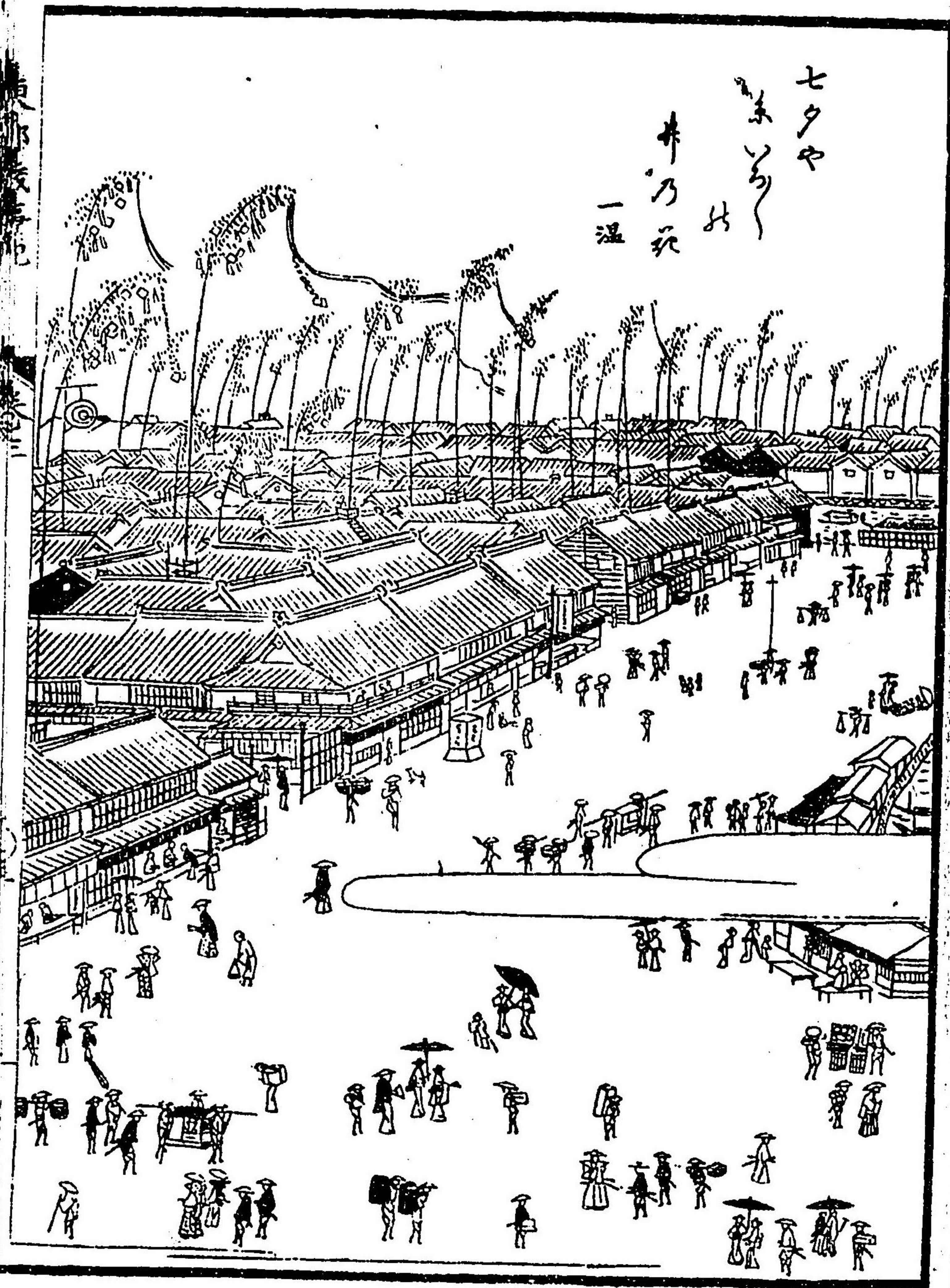


東部歳事記 卷三

武城七夕
奔遂東西未肯
休三回來見武
江秋儒門長守
濂溪拙乞巧何
須煩女牛
老圃堂



七夕や
あまのこ
井乃玩
一温



答以○吉原遊女者七夕参りてかひりて後や江戸の風の法に隈は非

○江戸天満宮七夕に分連分舎。同神宝出拂今日より九日迄あり
釋りて浄化とゆふらひ菱公の天女の沖太刀菅林冲志筆並に御物。法性坊志茶
太閤秀吉公御物御筆の文書御物の神宝あり

○七夕立花會 東本願寺 西本願寺 各教統の立花砂の御あり
地 法人見物とゆふらひ

系取高本願寺。又六角堂池の坊の立花も半女と名向るゆふらひはたもふらひゆふらひ

○沙彌本願寺中神本寺付宝出拂本寺佐川廣信寺長徳寺高徳寺故遠物御物ゆふらひ

○沙彌報恩寺付宝出拂 親鸞上人回酒の發志談あり

○池上本門寺付宝出拂 日蓮上人等法華經同筆遺物御用志筆御書
貞宗太刀を余種との異宝ありて浄とゆふらひ

○中山法花經寺付宝出拂 事細上人等曼荼羅御書上人の御物との外
法付志とゆふらひゆふらひゆふらひ

○志同弘法寺付宝 同不総寧寺付宝出拂 ○雜司谷法昭寺付宝出拂

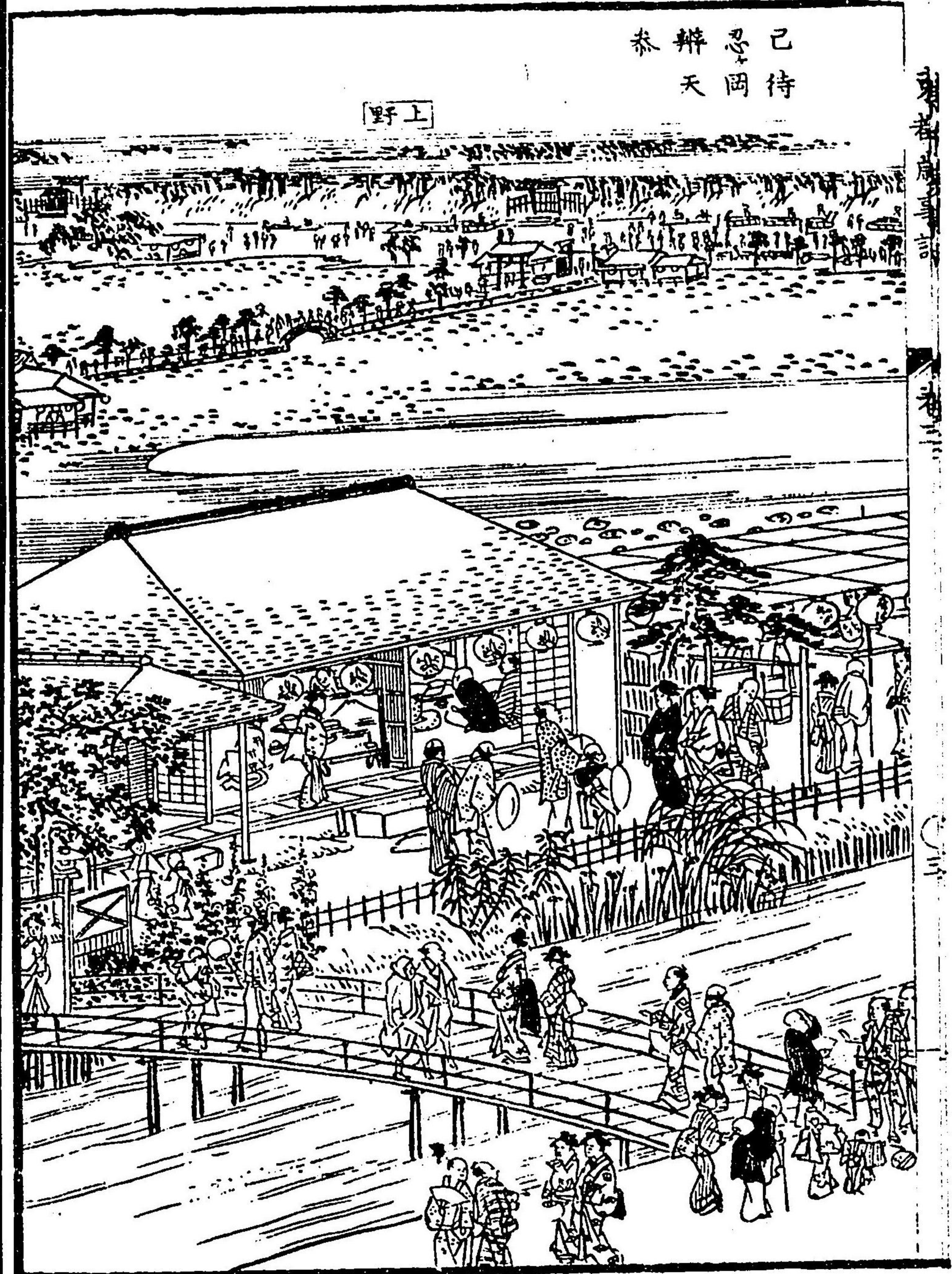
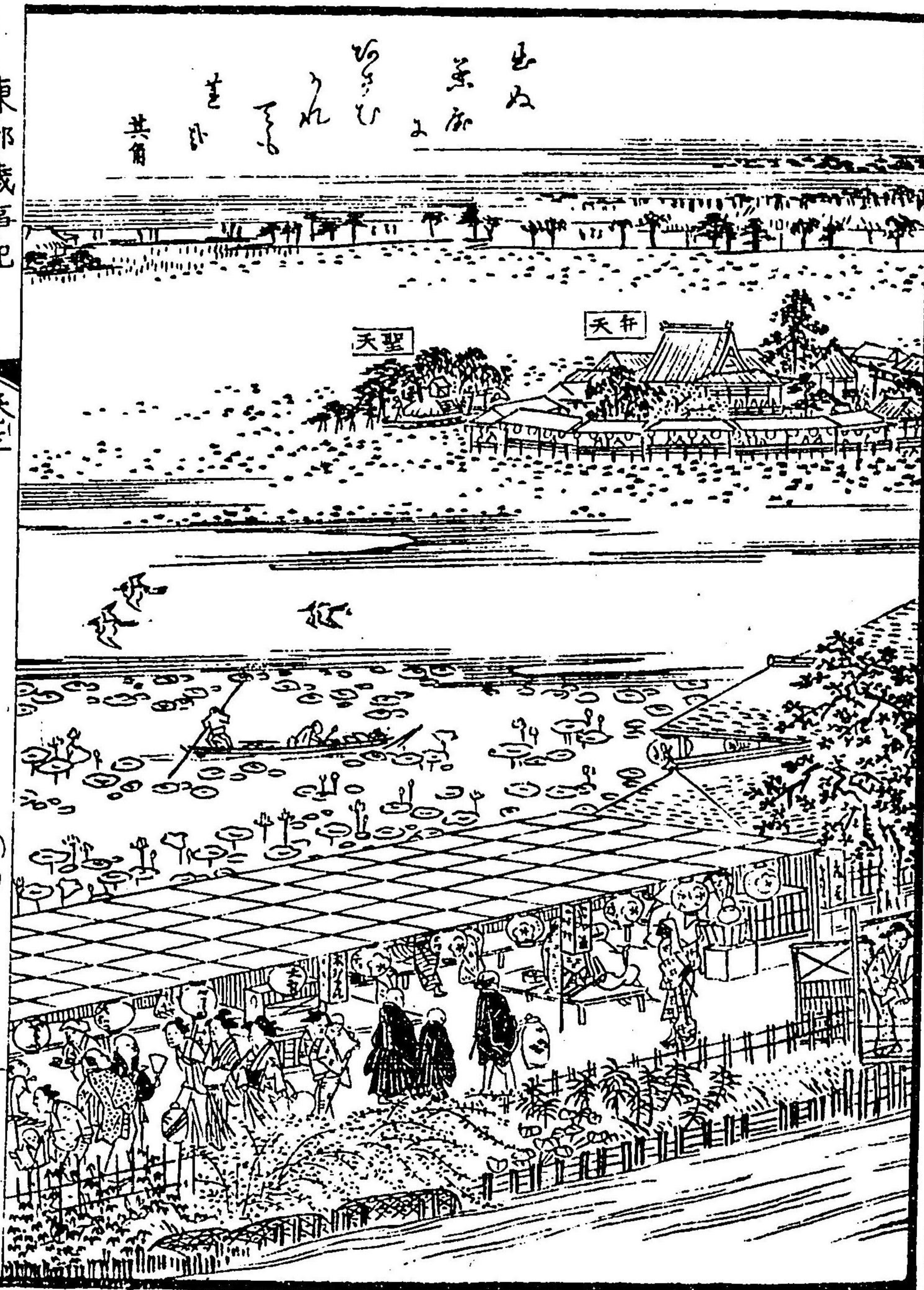
○奥沢村浄土寺九條佛奈 ○本西回向院大施威鬼 明曆三年丁酉四月
十八日十九日御火火

の初焼死溺赤の亡魂追薦の爲りゆふらひ

八日○辰寺にて佛餉施入の檀主現當両益の爲り法事修りあり

九日○觀音寺日系今日明日 世保堂方六日ともゆふらひの日法つれハ
あの日教とゆふらひ





沙弥寺

五日の同屋敷系結の老翁引もきり境内本寺の傍まで赤き蜀黍と
南人諸人求て雷難除のちり今日本寺まで修法中一通衆の者多し

本不田向院一言観音

本浪町四丁目 日本橋 白木屋 呉服店 二田魚籃 津田

回谷南寺町沙干観音

青山泰平観音 梅窓院 麹町八丁目栢原院

牛込神楽坂上徳掛観音

大塚護玉寺 駒込大観音 光原

○十日の秋例年まゝなる者あり
近きも赤き蜀黍を南人等沙弥寺向一近きより好むる者多し末由と知り

十日 ○草市

又草市より人精果なり魂棚飾の市なりゆきも町の刻より好む
藤原麻子白雲の茄子もも丸餅もあや推りたる者多し社務を外

左京仲の町 源川橋下

小石川徳通院系 本不田目 根津門外

十二日 ○同市立河

日本橋の南小 本玉屋小橋 人形町今川橋のふ 徳田下町

同門源系 本不中のふ

源川橋下町 本不中 白石 牛込通古町 市谷若町 麹町

○精霊祭

今日より十六日あひのる近人家屋敷棚と結びけりゆきも町の刻より好む
まづその旨物を清くして神懸すと棚懸ると十三日の夜遅くとも社務を

焼く十六日の送火とて又麻子とてこの角と俗言中より法入足徳の墳墓を徳川
室の中地味の居るゝあり

七月十三日
壬子権現
社祭禮

古来とて
あふ摸一
むせり



其二



鶴岡放生會
職人歌合

田樂

うら

うら

中門口乃

あき

い

うら

あき

月

あき

い

或云

後普光園

撰政



盆市

名物

名物

名物

名物

名物



琴風
小虫
土物
土物
土物



盆中往来
の圖

五元集

桐経
よきふれ
しほの福
いりお移り
と花
の有云價
宝珠と洗
せりふを
あり
云々
よきふれ
よきふれ



盆中
秋まき
の
灯
花



永長ののり物にてはははよ田木の船敷とすぬひとてやうの積とふりすとのるまはこ
 ありの遠一鎌倉の代よの入たのりて身一法康をまゐりてはひら元証のひは地
 ぬも見ええとまゐりてはひら元証のひは地ぬも見ええとまゐりてはひら元証のひは地
 こころのとりすのりてはひら元証のひは地ぬも見ええとまゐりてはひら元証のひは地
 とりてすのりひら元証のひは地ぬも見ええとまゐりてはひら元証のひは地ぬも見ええ
 教子の人々もまゐりてはひら元証のひは地ぬも見ええとまゐりてはひら元証のひは地

十冒○今夜又十六日朝上無差眼堂の後門主河原西へ男女雑人

泰信とゆはは 西と刻より成と刻まであり無眼堂の門へ

○湯まゐる施威鬼正の刻本坊よあめて修行あり

十宵○中元河原儀 花版刺精と時食と 七月の夜ふ死者の異魂あるよりと云てまゐり

○良縁生才魂の祝ひ より後りて現存母父母兄弟等の魂をまゐり

○雑司が谷鬼子母神更衣 今日より同而法明寺相撲十八日迄無河

○麻布五橋寺花王柱現多れりてお撲無河ありてを年を九角力やとてり

執りあへり ○小柄系花王柱南カありてお撲の書ふくまゐりいさ仕乃可ま

○禪家諸寺院大施威鬼修行 牛嶋の編も 白金塔堂も 下流谷長も

青山海蔵も 不川東海寺 今日辰十六日 同南番場大龍寺 八日十八日

○吉原仲の町燈籠と飾りありて 佐一高月毎日しるほの燈籠とて

○備○闇魔泰 多んまは 系信の場所正月十六日のころふ紀する如し

○東叡山 輪巻も 増上も 法華寺山門と南と法人登樓とあり

○不川本流も山門も輪泉岳も山門も 月の因東禅寺の如く

○尚衣奴婢後の教入正月十六日お同く人への能てゆる隨ふ道通と

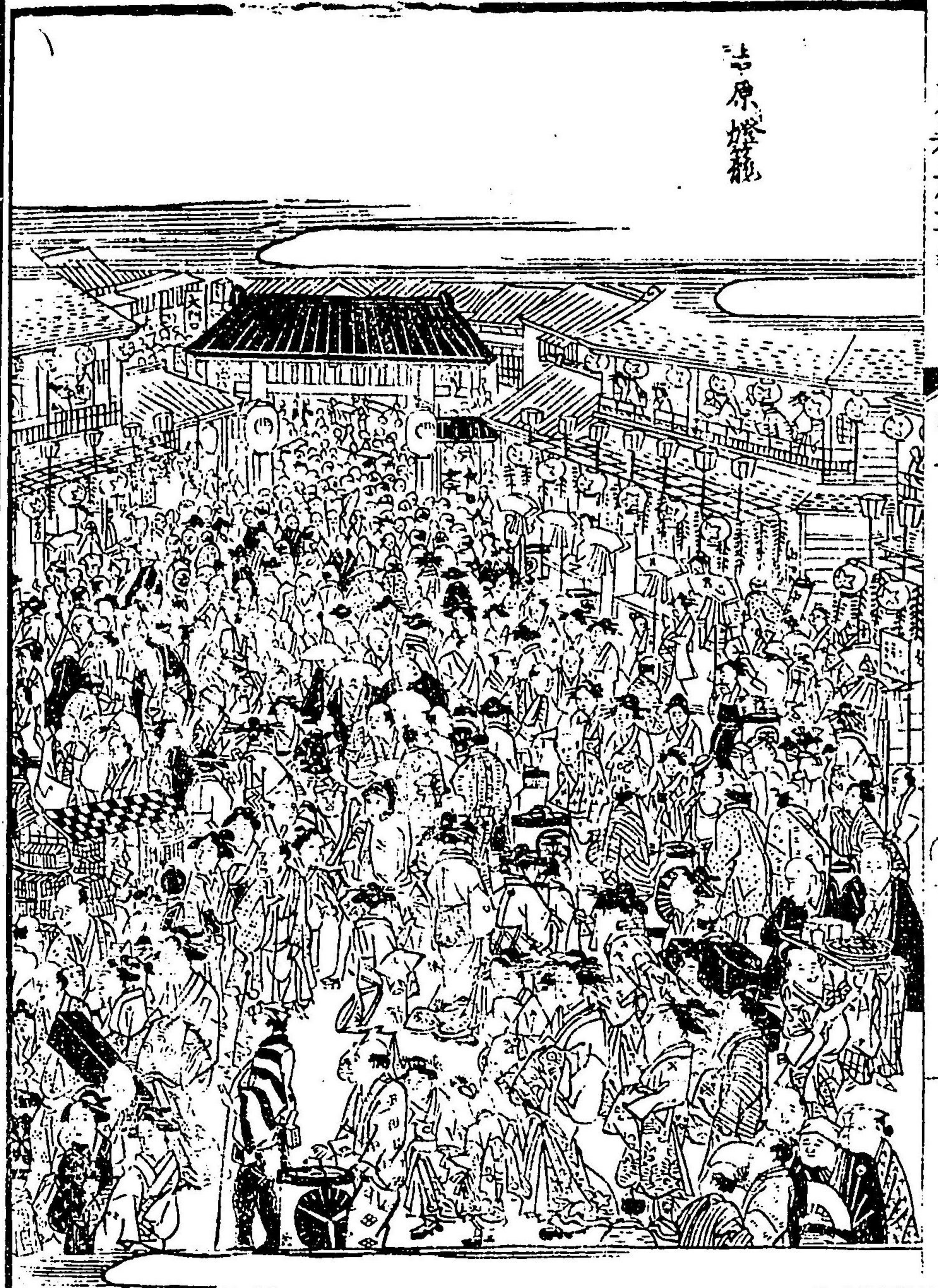
○今日より廿二日迄お不押上最教寺坐拂んで日蓮上人筆旗曼

茶羅とせせしむ 正安四年申巳八月係合將軍惟宗親王曼茶羅の威徳ありて

○小日向龍興寺の百羅漢木の懸物と掛るなり正月十六日のより

○湯島靈雲寺付寶坐拂 名筆俳画西界まんごら

吉原燈籠



東都夜事記

曲阪長堤

起晚埃

無人不道

親燈回

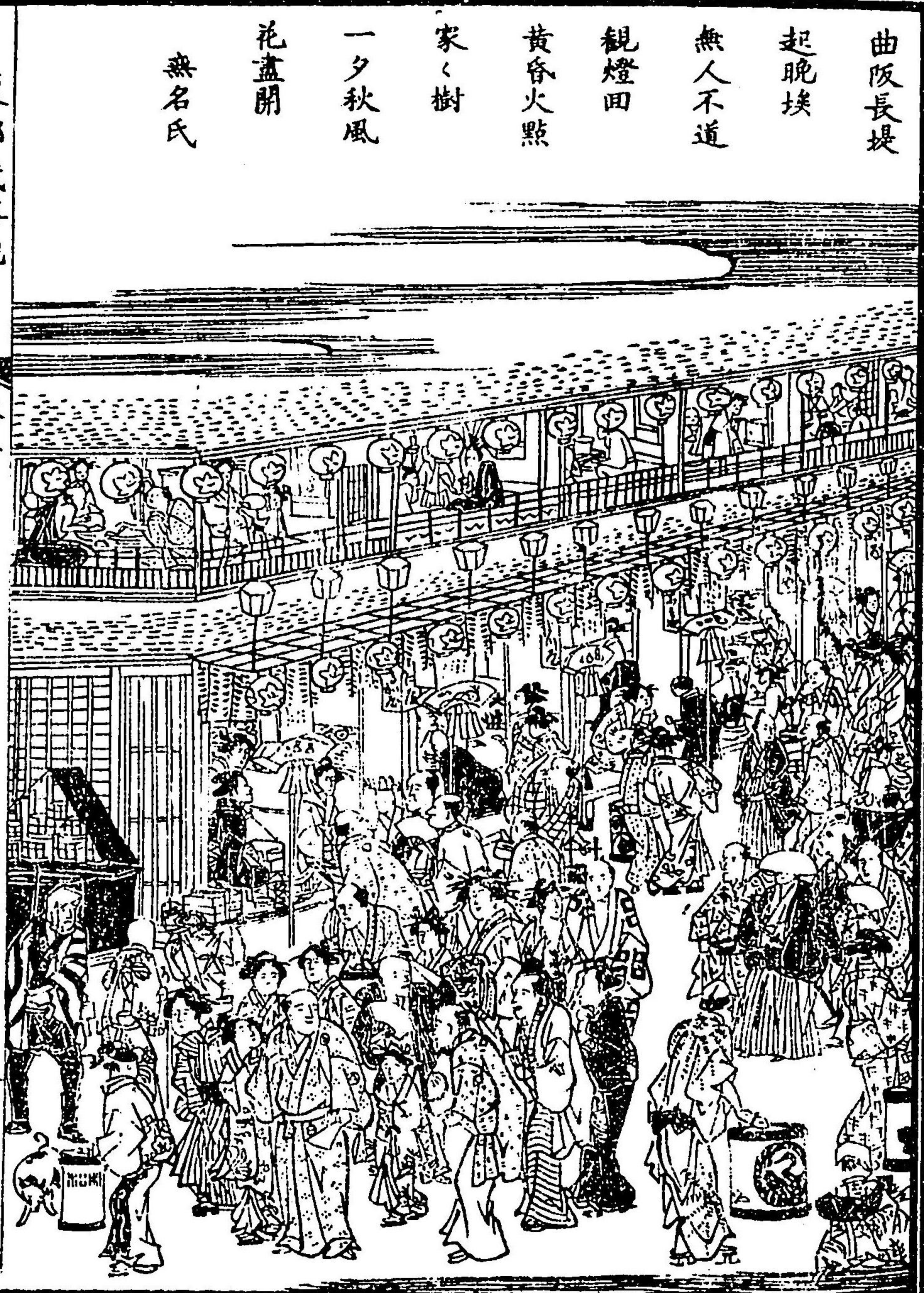
黄昏火點

家々樹

一夕秋風

花盡開

無名氏



東都夜事記

○同麟祥院從二位春日局影像と并せしむ正月十六日のこと

○淨光寺町御影施成鬼○小松丸泉と出掛律師志望の野月おとせしむ
○川口若光寺町御影

○同慈徳天寺淨陀經子部女日近修り
音響あり乃活日毎小群集
まことの言ふ家とてしむ

同山祐天大徳心八十二才等才の志願編○同八十七才志願編○同八十二才修徳志願編○
同送骨舍利○同香根○銀鞋七太刀才代名号○雅牙落の名号○大申出理の名号○施捨子
名号○火車夢現名号○火防子○同山と十六才累女淑夜の名号○同山累淑夜の名号淑夜は
東雲波○伏狐系鐘木○幾許天皇御代御影如來○仲乃非感得御影如來○聖徳太子
四等名号○醍醐光佛聖徳太子自然乃舍利○雲城御影如來○恒華淨師書結○圓
光大師自他志願○同筆紺紙令泥十念名号○二枚起淨文法再聖光上人等○同山志願
の像法天傳○蜀紅錦九条袈裟衣○藕糸六条袈裟○玄宗皇帝御箱養深珠の珍○同山志願
地巻子の像そ外佛画像佛像の類

○夏沢村淨真寺九景 什寶出掛十八日まを拜とあり
長室志願
こふ十五と

此を普く世人の知りあり○芝林大名号中九尺五寸三分○加徳太子法華名号○以
法大師等名号○同等舍泥光明名号○長守大師等名号○仲乃非化蓮糸名号○同華
林讚淨土經○文覽筆綴若心經○同山杖○咸陽宮瓦觀○光明別傳○珂憶上人等二河
白左の点○同等長守大師心經○同等圓光大師心經○以庵和尚等讀○九不淨土大
曼荼羅○珂憶上人等名号○圓光大師等名号○亡者の文集度の家士堤勉在馬
が志願の應天法書とありまを八回讀若茶某高寺同山河原上人の福と化家と

此景ハハホ押上
天羅心六堂
この竹あり
志願圓山
主水々筆
中々む妙
かり心一
川の心一
本生
子指
て身
しむ
あは
ゆき
壺と
ま
加へる



し赤夏

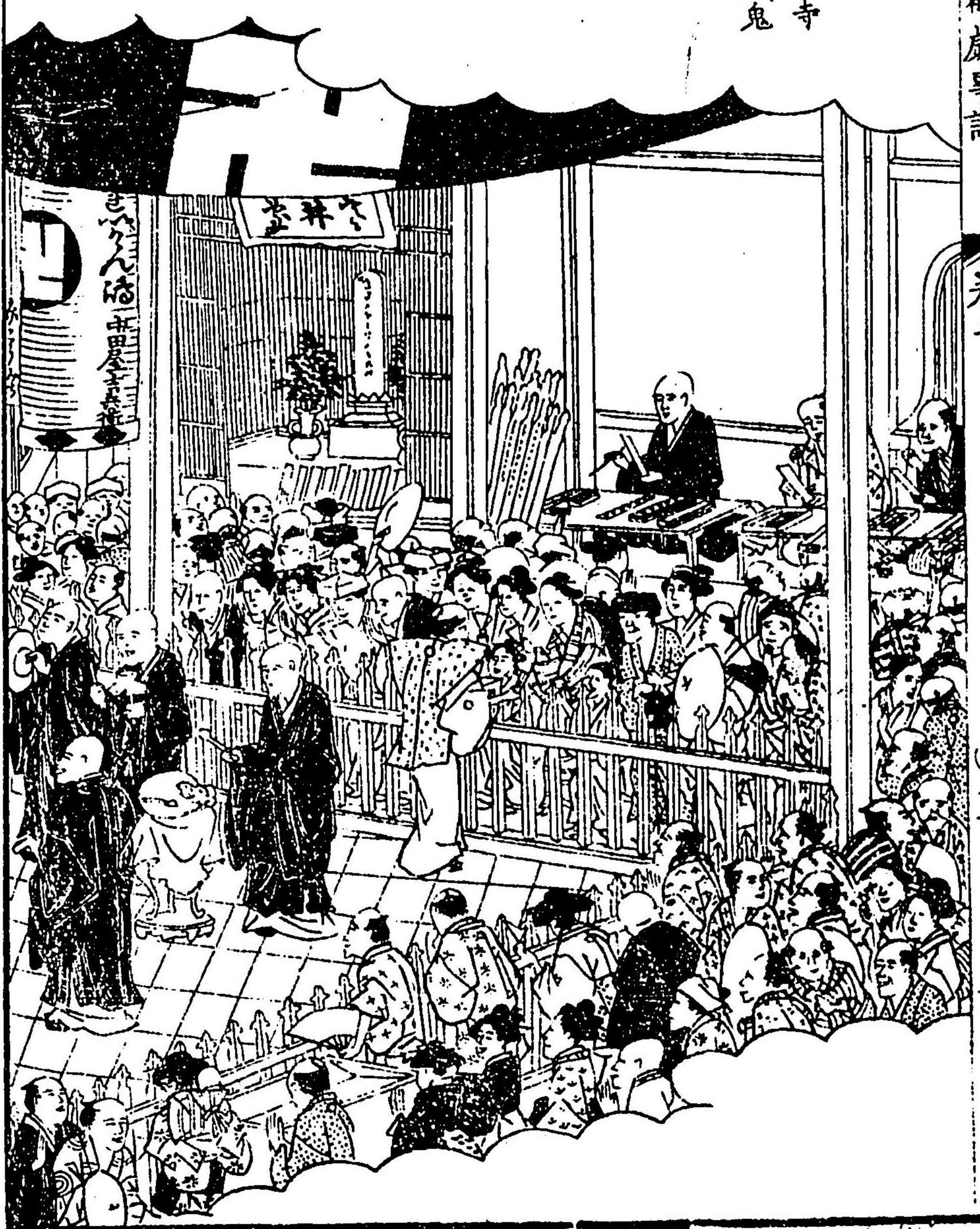
夕六ヶ月画自

東都歳時記

たつと
あはれ
帆
せうき
平砂



本所
羅漢寺
大施餓鬼



上人三日の旨施威鬼とゆひのひより今迄よりそのうね妻女等ととりて悪
くつと免るるをいひて若奈其へ書抄ける文あり。血の池の惟ふ本道林木町の南赤
き羽衣某々妻秘産するく非りくう同一上人の悪化やうて成依りくの惟子以法より
といふ四日二日の事なり

○吉原京町二丁目旭如兼開帳 旭丸をもちたる事候也
まほむら

十七日○本谷三丁目法福寺施威鬼

十八日○増上寺開山忌

開山西養上人聖徳大和尚の御忌よりして法廷を彼らと
あかり今日己刻大座を擡ぎ圓山を至末とす衆侶
方より列と接へく本堂へ出仕を程なく開山上人の本跡と四方寺と
十寺よりてく本堂へ迂りて途中天蓋をうき散りあり方丈ハ練衣年一糸信
以者童子布衣赤地退紅白浪赤の徒者具せりまきまき有り喜樂侯修りあり
多修りて年刻退散ありその時法福寺の諸人へ十念と極らる今日も修練集まふ
まき致し法令修りてより山とせり法福寺上人樓より登りてあつた

○堀の内妙法寺法花經子部廿七日迄修り かの旨をその老女日毎に
あつた

○湯島雷門本寺修りて親世喜縁起具宝出掛ありて洋とゆふ

十九日○青山風園寺逆峯の神事栄燈大護摩修り ねり供表買月
八日二時と

廿日○詢迦吉祥寺施威鬼修り ○半田榎町海松寺開山忌

廿二日○湯島圓法寺施威鬼修り

廿三日○谷中三修法修り 世儀なり
施威鬼廿九日迄修り 身

○湯島日輪寺あつて一遍上人の長自法修り八月をれもまきとゆふ

○下橋本古岡本村法福寺修り都より修人あり

廿四日○小石川戸崎町修り地蔵宗 ○下谷光岩寺施威鬼修り

廿五日○湯島本法寺修り慈谷修り ○無戸光岩寺施威鬼修り

廿六日○女六 修り 記せる地をて群集とるり難く育り修り

芝高輪 品川 いま西と今新聖観の第一といは府の良法兼日より約りそそ

のち奴幫簡女伶の属群とありてこの地小集り成はれとてうへく修業するの妙

うへくして法身 築地海手 源川側修 湯島天満宮境内 飯田町九段坂

日暮里法福社辺 日向不動寺境内 西浦小向て月と若く修りあり

天和二年編輯の集のゆりて田安門外とて修り正月七月の廿六日の曉は

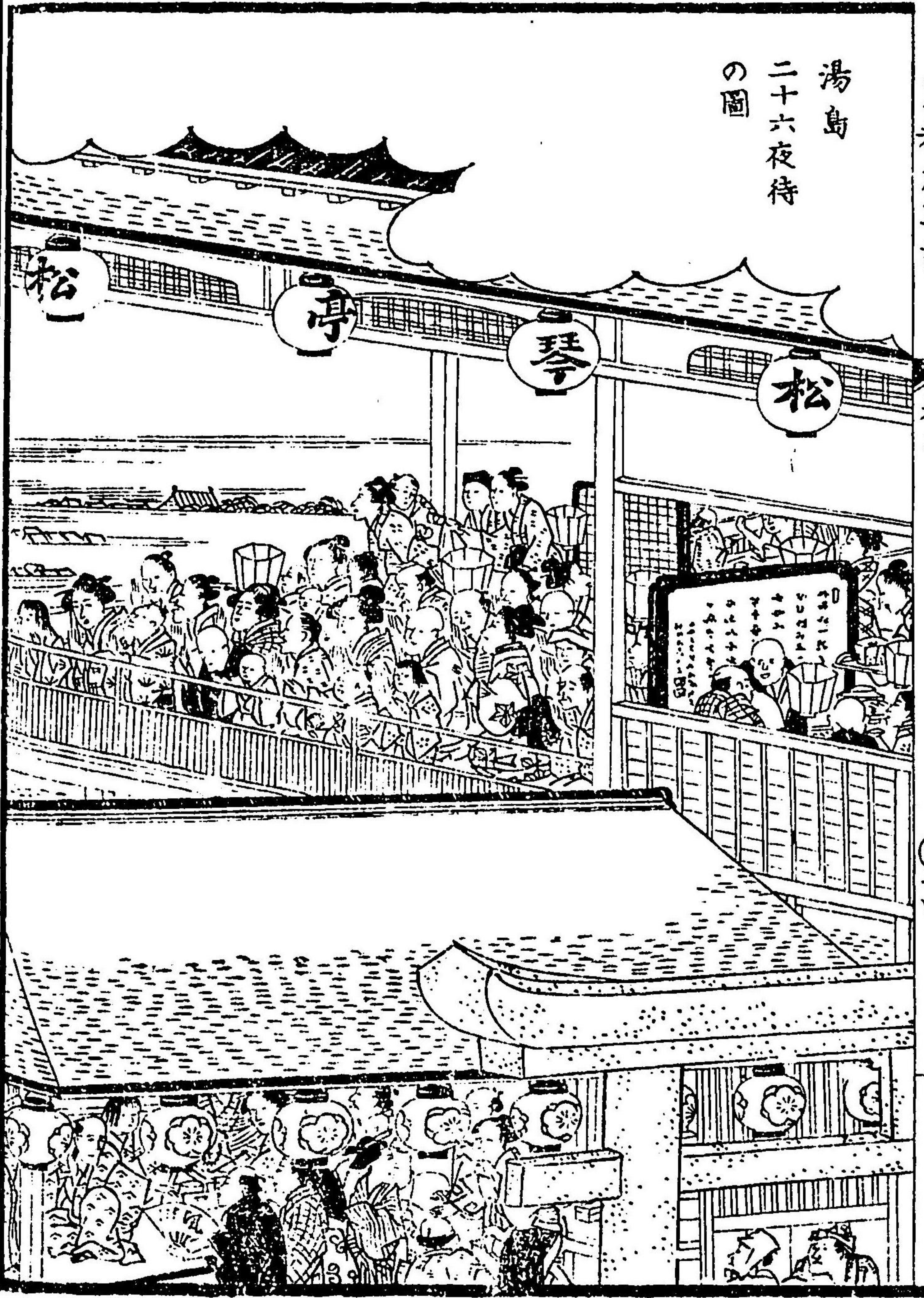
あつて月の出と修りたるよりとり今八七月のふりて正月廿六日を乳あつて

ざるが修りするのち修業ありて修りたるべし

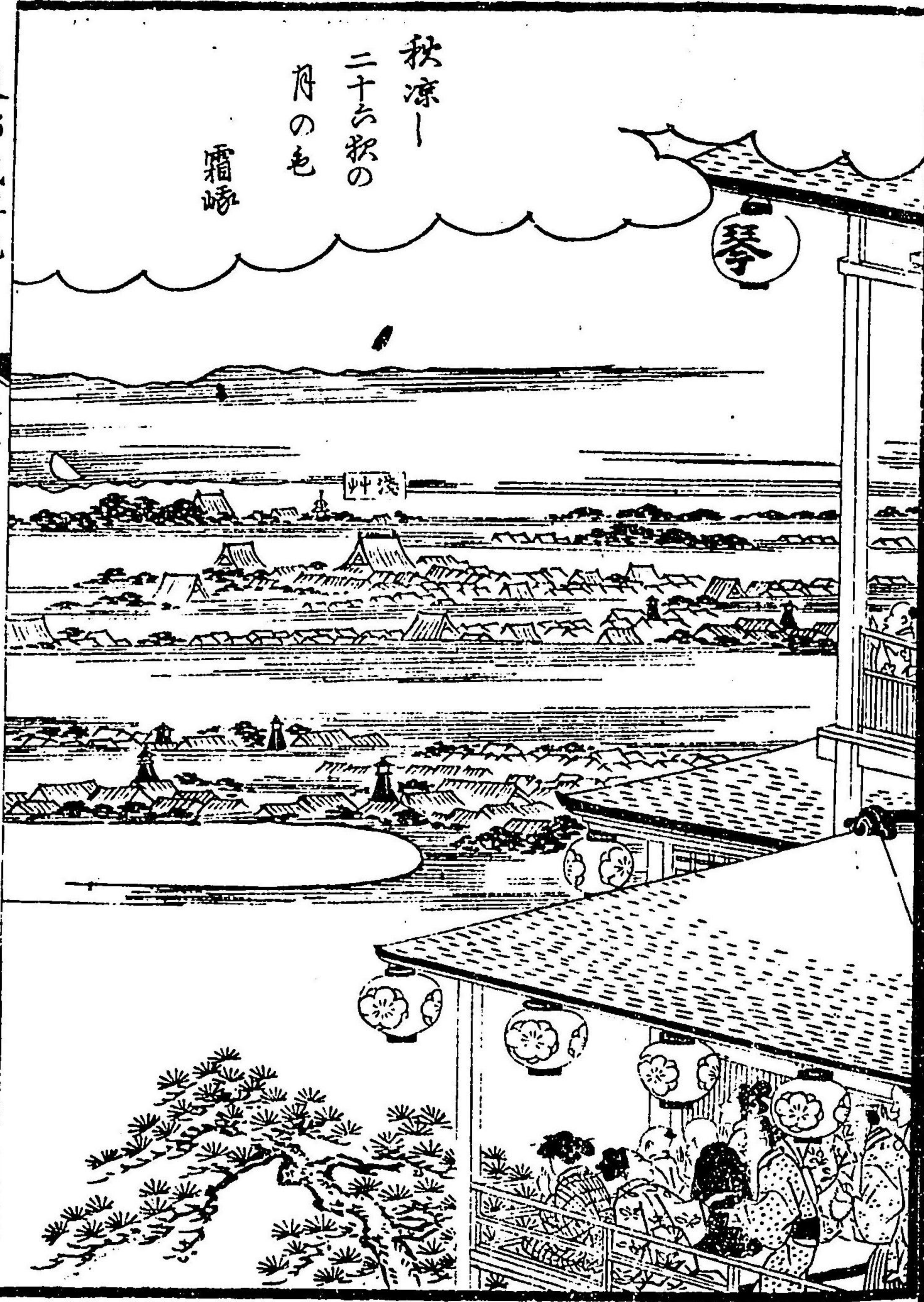
○稲付むく静徳寺太田道灌入道の木像開帳

○青山若光寺大施威鬼修り ○板橋日曜寺愛染的王開帳

湯島
二十六夜待
の圖



秋涼一
二十六夜
の月の色
霜崎



女盲 ○日暮里後坊明神祭礼

別當清光吉子寅夜申戌隔年小節中一
ねりおふとす 林喜も毎半年産子の町と後一

まの午新白より経るり ○小石川後坊町後坊の作奈女小節より
○徳島後坊町すもの作奈

廿八日 ○言田亮朝院七面宮施儀鬼修百味佳養あり

漁獲 ○秋鯉の場お大槩春鯉お同一場をころ場およりて又お遠ありまを肉

よりゆりねりまきさふ向くゆいゆ大獲八月下旬より物なほほとくとも
法く定く一秋鯉他の辺より人入一林の末鯉越真おくくもより七月末八月始
中川大遠く一川秋鯉八月末の湖より九月中旬と獲ると大鯉鯉あり又九月に一箱
さい杯のり鯉魚中川七月廿九日獲獲とく八月九日鳥獲八月九日ぬかぶ八月九日川八月九日
人より一なり

月 ○月ハ二秋の望月ハ九月ハあま移ると賞さあるお辺お遊ふ人よりまるん
ゆくよあ月秋の傍来と化ちと倍さ寄路の乃ふともろちあられ

隅田川 同綾瀬の辺 真流の辺 二源 深川洲崎 立川 小奈木川

淡池 芝浦 高輪 五ノ川 不忍池 湯岳の城新後り映し中川

武蔵野

武蔵野のいやくより月の名をかりて今とろゆゆ内王野のと田原をさす
とろいとも体さうのい今武蔵野移中ふ府中とまももとの雪南お
十八丁の平地ゆと農田ともまりふもより佳る山の隅の百全見遊よりありの
ありのの眺る向時来くとして濃涯をく園林並樹天は接し自らより懐こはり感

物景

あり今むい月の月と見るとあのとよりや
○百葉村松連禪寺を府中より一里ありあり度中一の眺をわ川の流ををん後一
月秋の素よりま修ふもよて一若くへ一

「本母もよふの命ありくく月其角お松おて」川ととくの川下や月乃友色蒸
「中川およりゆては月風雲」細とるハ江戸よまももとろ月其角

虫聞 ○夏の末秋 真流 隅田川東岸 王子辺 道灌山 飛鳥山辺 石澤山

飛鳥山 三河湾 市景乃舟 廣尾の系 虎は 根岸 法界 友園

多心紀軍よ云ねり一法はおくあふよりて多つけたりまをていとよにいねり
あめさあうと法界加茂の村官出擬して法界院中お奉るゆふよりとより
閑ふてそより遠くを覚くよりとあの一何知まらぬとあ遊まや出の系存義

秋七草 ○七月中 寺崎村百花園 双入鞠鳩の庵 刈り生漕花と雲 天保

絶るるか
○桑沢村は梳東城墨の跡とてありとの名も響きまらむる一徳念へ軌するとく
あまこの響きねり人は川へ積事り一うこのおろく入りてあまこの響きあも満きて死ま
を望きよりいまは一よりよつく花形白響ふゆるりと里老の院ゆる由江戸砂子捨遠ま
よりのをき桂木をよまうや一むむ七月初白花とゆゆるととつれゆの寄目もはむむ形
法人のある西あはふせい

○青山辺ふ雲地と考て毎七月中のくれぬ製物のおおくよ小き桃打地鉄以草
のまふ付てゆりくももろくもまらぬまらぬのやくはあまのゆ年々くくゆり

...

...

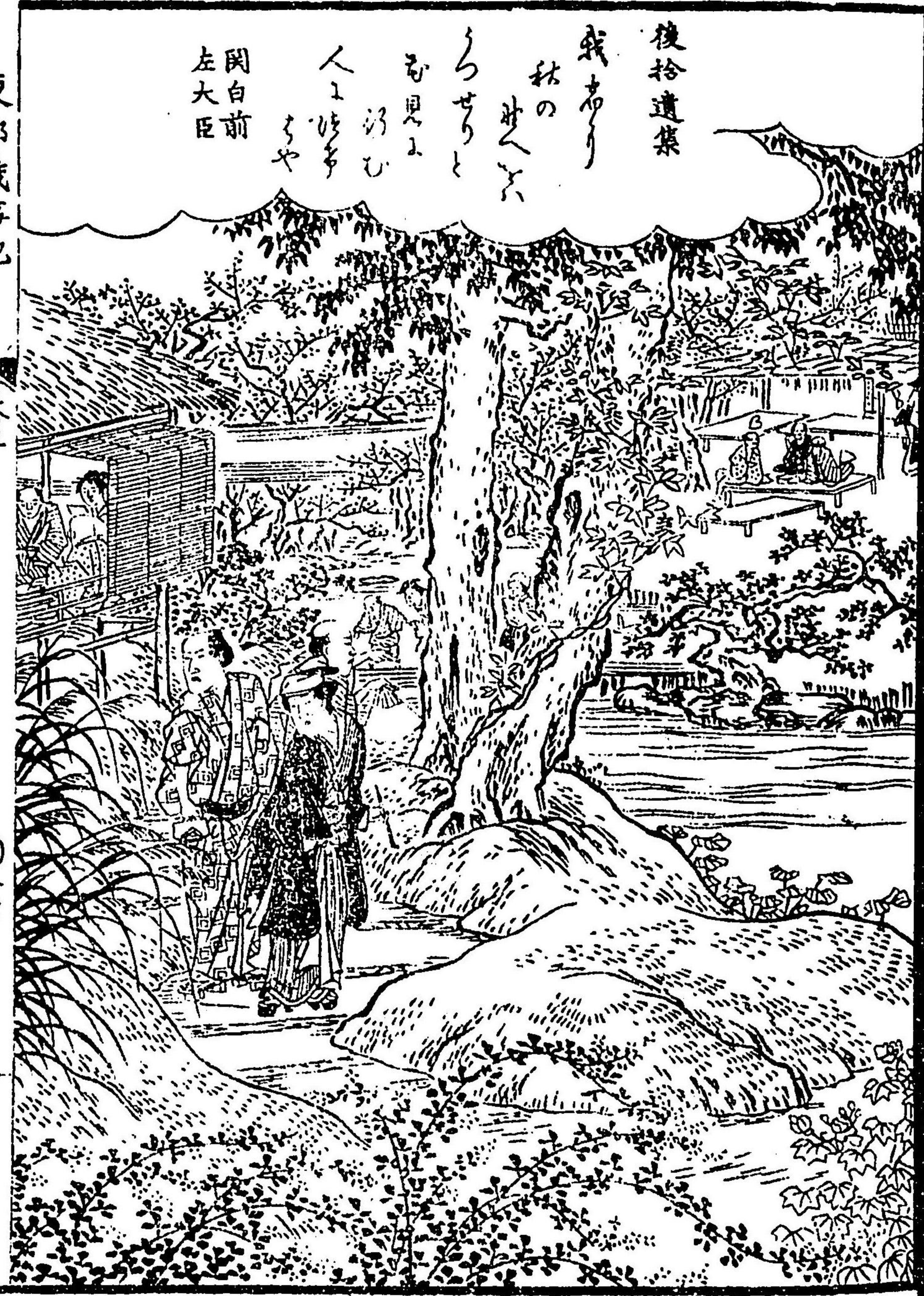
...

寺島村百花園
秋の七艸



後拾遺集

我あり
秋の
人よ
み見よ
左大臣
関白前



江近通溝水
城頭魚自肥
秋風吹一夕
處處釣鱸歸
南邦



宗永の比前山の古妻香をより好むらるるや又骨隠製ともいふ縁あり
 ○元禄の比追の良敷小三流の用意をそ新大川へ出たものより好むらるるは新の縁を
 官のゆゑと傳てた大とさのゆゑにけしきあり喜保の比より下はあふりしと
 江戸砂子拾遺のいふり○中古述の麻布の本末草院地を多揚をありて八月十六日新
 着の市多て芋と南へ多揚りて芋あらしひ坂とよひくあふりて来たに坂を市多り
 引月やち住吉乃佃も上り各月や友士屋のくるくやう下業新

○八幡宮祭禮 富賀岡八幡宮 列前代も 十貫より後八の商社多し寛永
 二十年癸未より好む古人ハ年毒り流備る

ありしを文化旧卯年まうと隔年小本一の宿の心旅不八林幸ありて同日
 除害あり産子の町よりも中一移り物とまくおせう用六巳未よりありてはうと
 止む今人境内額をの向へ伝を接へて林幸之基と通を町七横林酒不桃灯飾り物
 あり縁ひひむらむらすといひ産子の町をたのまき一住一こま祀

- 初番 霊塚古門前 一番 油込大工町 同 蛤町 二番 浅濱町 三番 佐賀町 四番 石川町 五番 楚井町
- 六番 富吉町 七番 諸町 八番 大崎町 九番 中崎町 十番 小川町 十一番 恵比町 十二番 元本場町
- 十三番 本場町 同 平野町 竹崎町

○水代揚向長春の番組
 一番 小杉町 荻津町 二丁目 三番 大川堀町 三番 長春崎 白根町 四丁目 五番 同四日
 市町 五番 同荻津町 六番 同荻津町 七番 荻津町 八丁目 九番 荻津町 長崎町 十丁目 十一番 同
 九番 川に町 本長町 十丁目 以上合五町あり
 二田八幡宮 列前量院 武藏風去祀 小和洞 二奉 己酉八月十六日始て林以成り
 あり舊社まうあふり一高月十日お放生念をいん産子以町四町同

意町 荻田町 十日より 九丁目 同横形町 通形町 本以上十三町あり 番組は四町同
 同意町 組合で十二番あり

西久保八幡宮 列前善門院 毎年林幸産子の町と後一西久保大通り入縁不
 と儲けく十二日より寺様あり今日放生念をを今町より
 隔年踊り移り物とまひる丑卯己未商賣の年より林幸通の左脇並に産子の
 町をて後輯は洋もいふ

市谷八幡宮 列前本田も 今日放生念あり安永三年奉述の隔年林幸之基以
 後一産子町より中一遠物とまき一同一奉より中絶まて
 奉と産子の町と舞意と儲り踊りと住一花物一お送りて十日より縁八の
 番組ありし

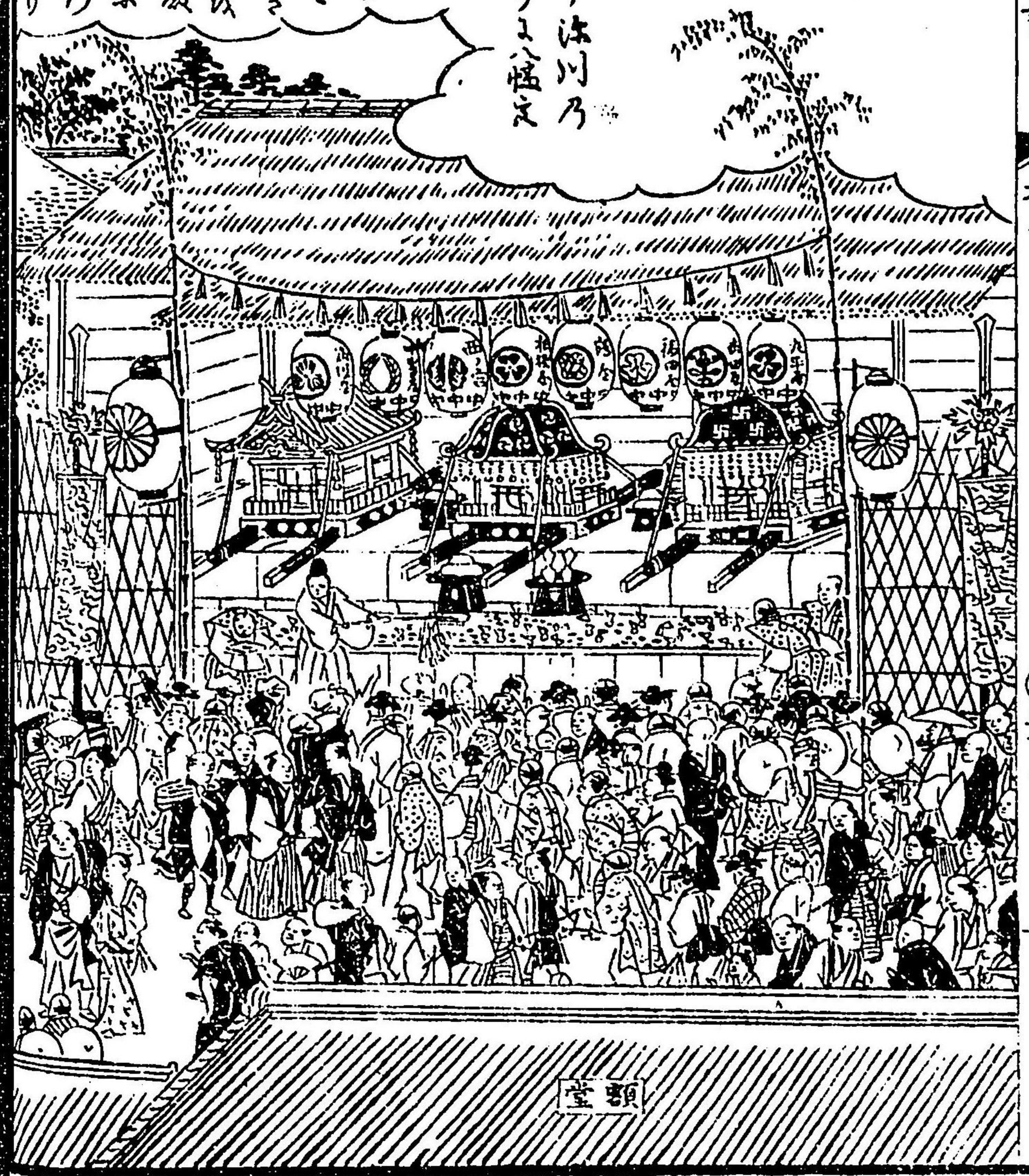
- 一番 市谷八幡町 二番 同本村町 三番 同片町 四番 同柳町 五番 同甲良町 六番 同太元
 - 七番 同東王町 八番 同南町 九番 同本長町 十番 同田町 十一番 同友内
 - 十二番 同同上町 十三番 同田町 十四番 同上町 十五番 同上町 十六番 同上町 十七番 同上町
 - 十八番 同上町 十九番 同上町 二十番 同上町 二十一番 同上町 二十二番 同上町 二十三番 同上町
 - 二十四番 同上町 二十五番 同上町 二十六番 同上町 二十七番 同上町 二十八番 同上町 二十九番 同上町
 - 三十番 同上町
- 同一林幸通の左脇ハ八幡町に御湯もて休ませ給ひ同四丁目通り 永田家や一きの
 横町へ八七町 同谷中 草野町 福野院 入むてまき一松平源次 湯殿屋 見まきより 蓮池
 の上たへ谷町へ入り 本村町 田町 同同裏通り 八幡町をいれり 高家の花より 市谷
 山つ八番町より 定火消屋一き多通り 半込の山を 田町通り 左内坂尾町 公公を
 山崎通の葉王も町南町 町折町 甲良や一れ去本場 平山町 延古谷町 更より 左内坂通り
 坂ありし

高田穴八幡宮 列前放生念寺 宝曆九年奉まて八隔年林幸坂の寺様不八林幸あり産子
 町より花物一踊り遠物と出せし同一奉より中絶を毎年

八月十五日
富賀岡八幡宮
祭禮

視吾堂集

武城のひんぐりは川乃
流ま清きわたりは
いそれおつゝま
あのおのつゝ
永代清くかんま
八丁の致系持
く久くもくをへ
中々遠く江城以
のせめ、清陽令
は、まもひりふ
たりをく清ま
く小原はのそり



堂頭

りとうく入まか
めく男山のゆりけ
くしひく和光まふ
ねくまれのゆり
たふりれ
雲地なる

若清あ

幸

流ま

東路よ

む

永き代乃

志は

名

お

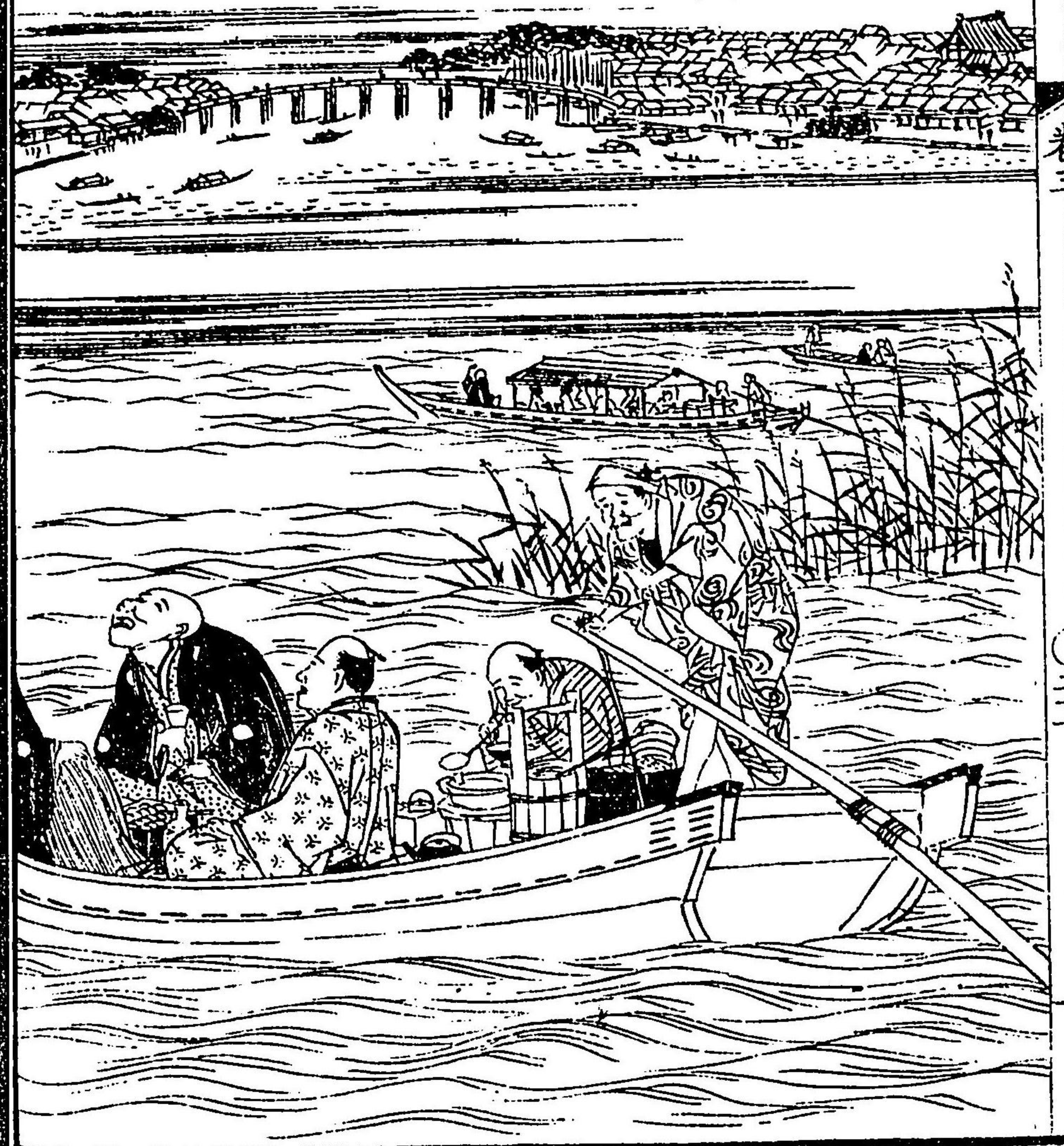
惟足



身者成事言

良夜墨水
看月

墨水連天湖秋
風二総開湖平
明月湧山近白
雲來病嫩人情
變歸心酒態哀
窮愁書未就短
髮成椰催
金萃



玉葉集

あつへせ

あつへぬ

月乃

南田川

みやふた

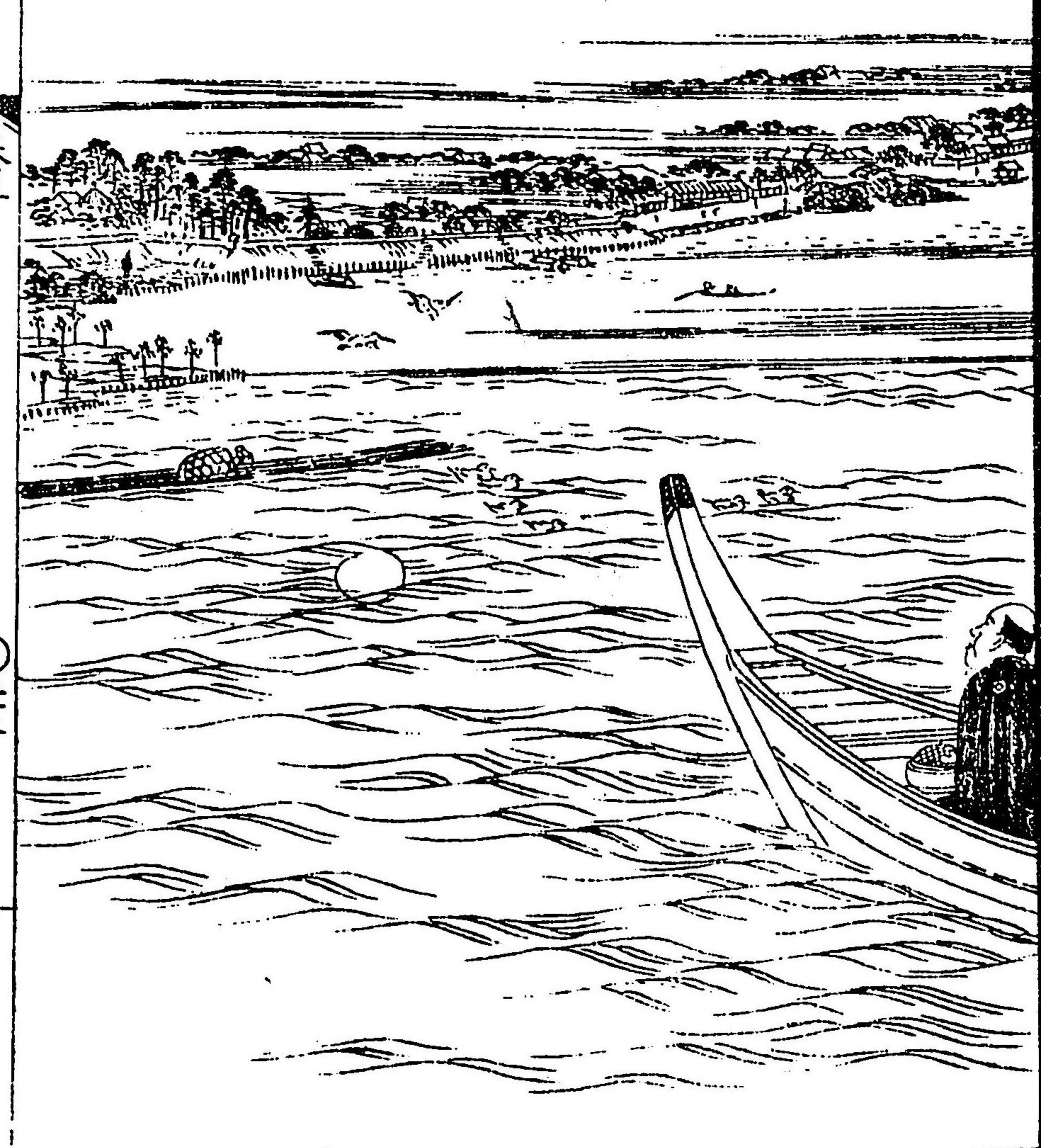
友と

んさ

うのそ

き

後二条



藤那藏事記

卷三

三

武藏野駒牽古事



後撰集
秋務の
立舟
釣と
むく
くはハ
の
君せ
まひ
志房



東海道

ありしを本年のものに由りて寛文二年社地となり同三年社地経營ありは本年八月社地本酌家
軍府の例よりそを始りて本所の地を巡りすと云 川崎菅原氏

社興の列次第

先程太鼓 白浪三人 袴田彦 法衣八人 唐櫃 伸子 取白浪種り 布衣五人
日俸 白浪八人 社家誘る 土衣二人 潮掛の列 穀陰 社家誘る 土衣二人 白浪幡 白浪三人 社家
誘る 土衣三人 十六万幣 布衣十人 二十番社幣 布衣十人 社家誘る 土衣二人 火水俸 白浪三人 社家
二人 白浪八人 社家誘る 土衣五人 社家誘る 土衣八人 社家誘る 土衣八人 唐櫃 白浪二人
御先遣 御形持 青幣 布衣五人 白幣 布衣八人 社家誘る 土衣八人 社家誘る 土衣八人 唐櫃 白浪二人
白浪八人 祝詞及社衣三條 御形持 二条 白浪二人 社家誘る 土衣八人 社家誘る 土衣八人 唐櫃 白浪二人
唐櫃 二棒 白浪八人 金級挾袋 白浪八人 社家誘る 土衣八人 社家誘る 土衣八人 唐櫃 白浪二人
社文俸 半副 白浪二人 別名 赤車 難色 六人 社家誘る 土衣八人 社家誘る 土衣八人 唐櫃 白浪二人
金級挾袋 白浪二人 副半半 白浪二人 誘る 社家誘る 土衣八人

祭孔町之番組

一番 本所若生町を二月三日同二月四日同二月五日同二月六日同二月七日同二月八日同二月九日同二月十日同二月十一日同二月十二日
二丁目七番 同二月十四日同二月十五日同二月十六日同二月十七日同二月十八日同二月十九日同二月二十日同二月二十一日同二月二十二日
三丁目十二番 同二月二十三日同二月二十四日同二月二十五日同二月二十六日同二月二十七日同二月二十八日同二月二十九日同二月三十日
北番 同二月三十一日同三月一日同三月二日同三月三日同三月四日同三月五日同三月六日同三月七日同三月八日同三月九日
同三月十日同三月十一日同三月十二日同三月十三日同三月十四日同三月十五日同三月十六日同三月十七日同三月十八日同三月十九日
同三月二十日同三月二十一日同三月二十二日同三月二十三日同三月二十四日同三月二十五日同三月二十六日同三月二十七日同三月二十八日同三月二十九日
同三月三十日同三月三十一日同四月一日同四月二日同四月三日同四月四日同四月五日同四月六日同四月七日同四月八日同四月九日
同四月十日同四月十一日同四月十二日同四月十三日同四月十四日同四月十五日同四月十六日同四月十七日同四月十八日同四月十九日
同四月二十日同四月二十一日同四月二十二日同四月二十三日同四月二十四日同四月二十五日同四月二十六日同四月二十七日同四月二十八日同四月二十九日
同四月三十日同五月一日同五月二日同五月三日同五月四日同五月五日同五月六日同五月七日同五月八日同五月九日同五月十日
同五月十一日同五月十二日同五月十三日同五月十四日同五月十五日同五月十六日同五月十七日同五月十八日同五月十九日同五月二十日
同五月二十一日同五月二十二日同五月二十三日同五月二十四日同五月二十五日同五月二十六日同五月二十七日同五月二十八日同五月二十九日
同五月三十日同六月一日同六月二日同六月三日同六月四日同六月五日同六月六日同六月七日同六月八日同六月九日同六月十日
同六月十一日同六月十二日同六月十三日同六月十四日同六月十五日同六月十六日同六月十七日同六月十八日同六月十九日同六月二十日
同六月二十一日同六月二十二日同六月二十三日同六月二十四日同六月二十五日同六月二十六日同六月二十七日同六月二十八日同六月二十九日
同六月三十日同七月一日同七月二日同七月三日同七月四日同七月五日同七月六日同七月七日同七月八日同七月九日同七月十日
同七月十一日同七月十二日同七月十三日同七月十四日同七月十五日同七月十六日同七月十七日同七月十八日同七月十九日同七月二十日
同七月二十一日同七月二十二日同七月二十三日同七月二十四日同七月二十五日同七月二十六日同七月二十七日同七月二十八日同七月二十九日
同七月三十日同八月一日同八月二日同八月三日同八月四日同八月五日同八月六日同八月七日同八月八日同八月九日同八月十日
同八月十一日同八月十二日同八月十三日同八月十四日同八月十五日同八月十六日同八月十七日同八月十八日同八月十九日同八月二十日
同八月二十一日同八月二十二日同八月二十三日同八月二十四日同八月二十五日同八月二十六日同八月二十七日同八月二十八日同八月二十九日
同八月三十日同九月一日同九月二日同九月三日同九月四日同九月五日同九月六日同九月七日同九月八日同九月九日同九月十日
同九月十一日同九月十二日同九月十三日同九月十四日同九月十五日同九月十六日同九月十七日同九月十八日同九月十九日同九月二十日
同九月二十一日同九月二十二日同九月二十三日同九月二十四日同九月二十五日同九月二十六日同九月二十七日同九月二十八日同九月二十九日
同九月三十日同十月一日同十月二日同十月三日同十月四日同十月五日同十月六日同十月七日同十月八日同十月九日同十月十日
同十月十一日同十月十二日同十月十三日同十月十四日同十月十五日同十月十六日同十月十七日同十月十八日同十月十九日同十月二十日
同十月二十一日同十月二十二日同十月二十三日同十月二十四日同十月二十五日同十月二十六日同十月二十七日同十月二十八日同十月二十九日
同十月三十日同十一月一日同十一月二日同十一月三日同十一月四日同十一月五日同十一月六日同十一月七日同十一月八日同十一月九日同十一月十日
同十一月十一日同十一月十二日同十一月十三日同十一月十四日同十一月十五日同十一月十六日同十一月十七日同十一月十八日同十一月十九日同十一月二十日
同十一月二十一日同十一月二十二日同十一月二十三日同十一月二十四日同十一月二十五日同十一月二十六日同十一月二十七日同十一月二十八日同十一月二十九日
同十一月三十日同十二月一日同十二月二日同十二月三日同十二月四日同十二月五日同十二月六日同十二月七日同十二月八日同十二月九日同十二月十日
同十二月十一日同十二月十二日同十二月十三日同十二月十四日同十二月十五日同十二月十六日同十二月十七日同十二月十八日同十二月十九日同十二月二十日
同十二月二十一日同十二月二十二日同十二月二十三日同十二月二十四日同十二月二十五日同十二月二十六日同十二月二十七日同十二月二十八日同十二月二十九日
同十二月三十日

廿六日 ○ 豊平天満宮祭禮の通目なり

○ 下谷天満宮祭礼 又東天神社神祭の古殿へ ○ 茸場町山王神社石角天満宮
廿八日 ○ 詢迎目赤不動菩薩開帳

○ 下谷天満宮祭礼 又東天神社神祭の古殿へ ○ 茸場町山王神社石角天満宮
廿八日 ○ 詢迎目赤不動菩薩開帳

○ 下谷天満宮祭礼 又東天神社神祭の古殿へ ○ 茸場町山王神社石角天満宮
廿八日 ○ 詢迎目赤不動菩薩開帳

○ 下谷天満宮祭礼 又東天神社神祭の古殿へ ○ 茸場町山王神社石角天満宮
廿八日 ○ 詢迎目赤不動菩薩開帳

○ 下谷天満宮祭礼 又東天神社神祭の古殿へ ○ 茸場町山王神社石角天満宮
廿八日 ○ 詢迎目赤不動菩薩開帳

物景

みとをさびきまて石川よりカサのりとならせてはましく製しつらりてせり程考へ
けありのいひ多て日暮りのあつ又出漁業も其れをいひまやあつてつらり油若
の味も「のり」つらくあつたをいひまやあつてつらり油若

萩 ○ 五社より三 飛戸新眼寺 世に萩のいひまやあつてつらり油若の
十日のり 比連のりいひまやあつてつらり油若

社内文地延喜社茶池辺 古橋蓮花寺 同百花園 比連のりいひまやあつてつらり油若

社辺 中谷山燈寺 比連のりいひまやあつてつらり油若

若板花を庵よるの中へ名石と落しこれと何れとてつらり油若のいひまやあつてつらり油若

苑野 ○ 隅田川堤 豊清 麻布虎尾東 落合瀬山辺 代々木池

九月

朔日 ○ 今日より八日迄諸人給家と考は

三日 ○ 本所新橋妙見宮開帳 ○ 同石押上番賣并開帳子巻番眞品傳り

四日 ○ 南品川浦神宮あひまやあつてつらり油若

七日 ○ 大塚渡りいひまやあつてつらり油若

九日 ○ 重陽寺祝儀諸彦 小油 市登城良妙佳節と祝を 萩物と考は

○ 良妙 今日より繁盛と考は ○ 林田町作彦子の町と今和より新提灯

○ 三田春日明神祭 別高 ○ 同是又考は萩物と考は 別高

○ 高田の稲荷祭 二十六夜林本具の別高泉も ○ 南品川表の神祭

○ 高田 下谷法与法花經子部十八日まて修り

十日 ○ 小石川氷川明神祭 丑卯己未酉亥年隔年又彦子の町より中修り

川高橋出の泉も

一番 小石川東町 三番 同西七町 三番 同戸法修町同祥きり門を同法修町門を同法修町門を

四番 同高橋大町同向塔戸町 五番 同山掃除町 六番 同打町同下坂坂町東側同修徳院門を

七番 高仁の町 八番 同大東町 九番 同宮下町同六彩町 十番 同久保町 十一番 同清水谷町同葉

筋町同稻荷寺の町 十二番 同光忠寺門を同稻荷寺の町 十三番 同葉野町東町子目小石川を 十四番 同西

葉野町 二十日 十五番 同葉野町 十六番 同葉野町 十七番 小石川坂下戸法修町 十八番 同修徳院東表町

同白土町同陸大町 十九番 同上坂坂町 北番 同全修の町同修徳院 南番 同葉野町 二十番 同葉野町

○ 今日よりまはるは萩と考は ○ 同日毎日いひまやあつてつらり油若のいひまやあつてつらり油若

十日 ○ 今日より版倉町の泉も 萩物と考は ○ 下谷橋表の泉も萩物と考は

九月十一日より廿日
迄芝神明宮祭禮

新葉集

本中りり

百首の歌の

中二枚紙

酒とりりり

とよませる

る

いふやう

一歌

えうりり

あひ

とらとら

あ

そめん

し製



○今日明日論言と鴉野多礼 去春も

十日○日蓮上人御影の儀 文永八年九月十二日上人相別影のいりて御と遊ばし
影にも人御影をまより活する者あり ○半田様も町田様も松本入るまは
外海と洗行へ

○芝居見の世界 芝居よりお茶屋芝居本屋に又ハお茶屋の虎と地灯と出
まて目録の趣向と活きむ化すとさるより

十日○看月 後の風宴といふ衣被といふ 乗枝至すきの花未月も竹中月見と
林田の竹中も竹中武敏町に竹中月見と竹中月見と

○江戸天満宮同宴和分連舟も無事

○源六内坊神明宮祭 別当様は泉養も歩給事といふ正月六日の事
過月八日して旅ひ十一日より喜ばる

○馬田本松と竹滿江師子巻陀羅尼修り

十日○竹田多礼の前目なり 世帯お宮又修りといふ人おれ舞持あり初列と修りて
と修りありて是といふとて遠とのも修りて今
左筋の武家町おあやと實審といふ人養修りといふとて修りて今
社おあやと実修りといふ人養修りといふとて修りて今
社おあやと実修りといふ人養修りといふとて修りて今

芝蔭氏は願せしき... 芝蔭村と云ふ日蔭と云ふ... 芝蔭村と云ふ日蔭と云ふ... 芝蔭村と云ふ日蔭と云ふ... 芝蔭村と云ふ日蔭と云ふ...

十日 ○ 津田町... 津田町に... 津田町に... 津田町に... 津田町に...

今日津東入道... 今日津東入道... 今日津東入道... 今日津東入道... 今日津東入道...

左鼓 津幣 林 社会... 左鼓 津幣 林 社会... 左鼓 津幣 林 社会... 左鼓 津幣 林 社会...

津東町一丁目四番... 津東町一丁目四番... 津東町一丁目四番... 津東町一丁目四番... 津東町一丁目四番...

津東町一丁目... 津東町一丁目... 津東町一丁目... 津東町一丁目... 津東町一丁目...

東都府事記



九月十五日
神田明神
祭禮

神田明神

源田町二月
氏子中

十五七姫



西



神田社

嵐雲

毛十九
大名店
と

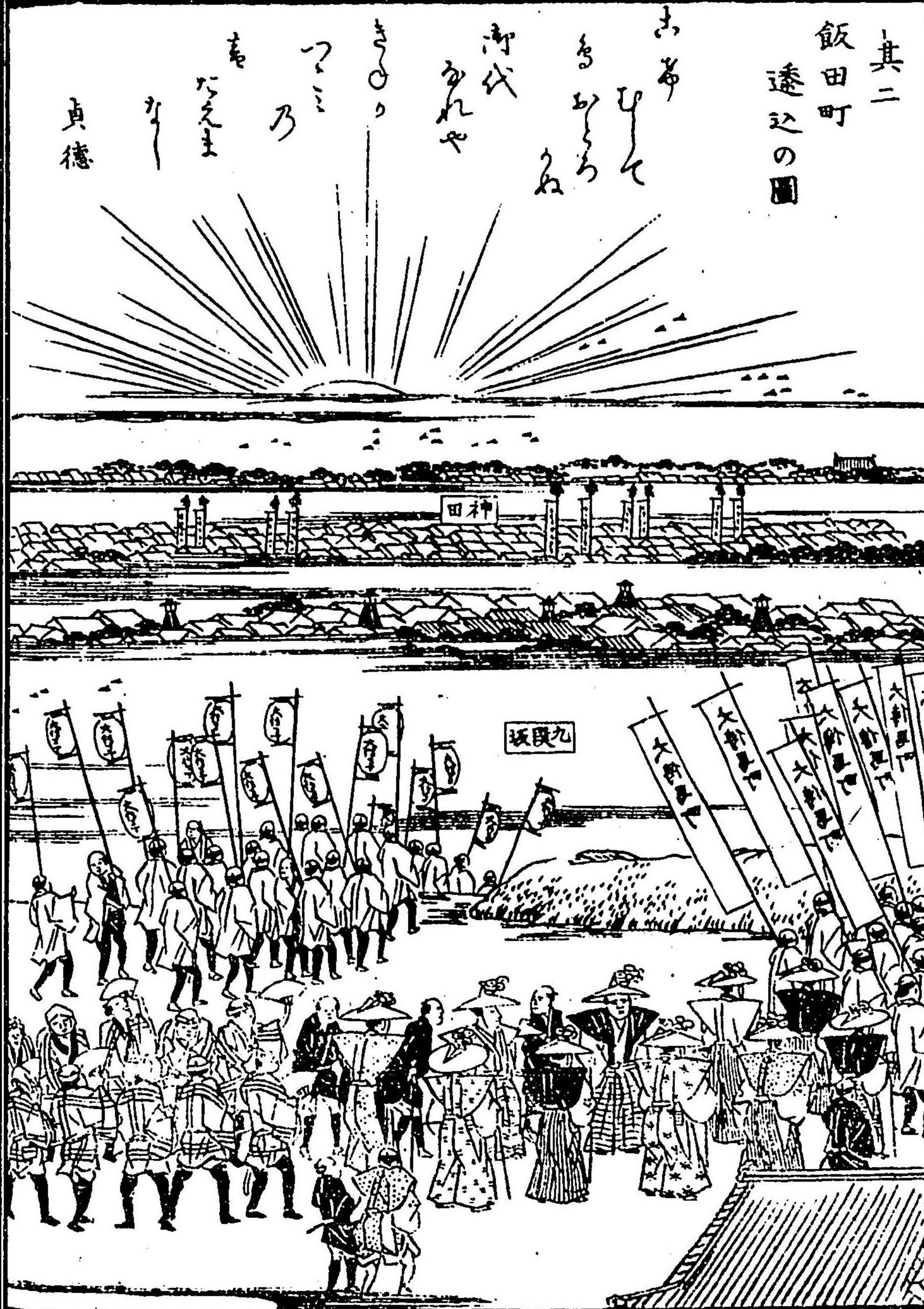


東都府

其二

飯田町

遠辺の圖



おあき

あき

あき

あき

新代

あき

あき

あき

あき

貞徳

東都府



あき

あき

あき

あき

あき

あき

通村

あき

三

三

へ出守町を丁目よりを丁筋遠呂舟橋を渡り湯島の河港より聖徳宗の坂とより東江
へ還來ありは稲産子の家より新挑打とて井の尾とつて改定と信をいふ
移しく信樂のいさよは日と尋うる

寛文二年壬寅九月江東吟葉 平岩仙桂作

繁華男女集随喜仰神田高下雕薨疎收排未聞鮮擲錢強願福擎幣
且求全聞說親王蹟嚴靈經幾年

○因社津奉施 今中ノ奉保のあらまて、東の年十六日又廿日、其保を成日、
らびくも、よきひの觀世金春宝生令別のに存より出戸中核査別ありて、
果ひ、う同、ひより絶り

小東代元巻田云坂より東、二圓、一、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
と、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、
結式三番、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、
大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、
武、武、武、武、武、武、武、武、武、武、武、武、武、武、武、武、武、武、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、
よ、よ、よ、よ、よ、よ、よ、よ、よ、よ、よ、よ、よ、よ、よ、よ、よ、よ、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、

○津田 薩祭 隔年、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
又、又、又、又、又、又、又、又、又、又、又、又、又、又、又、又、又、又、
出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、

○牛御茶王子権現御禮 別處最徳吉世卯己未酉未、隔年、あ、あ、あ、あ、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、

○一番 本不花町二番 同名、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、

○下谷 金摺村三修明神多礼 此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、

○子住 小極系飛鳥明神多礼 此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、

○子住 掃部右法曹冰川明神多礼 今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、

○牛込 築土明神多礼 別處、此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、

士の如く唐人姿御脚任達警志も余程くの時立りく未法も身入爲社以へ元法を

十七日 ○ 沙美新堀松平福福寺新宮奉遷

○ 沙美之社河相殿太々河神樂無引 ○ 麻布一本松氷川河神神楽 ○ 大森まねの神楽

○ 小日向の河氷川河神神樂引 ○ 河日輪 ○ 谷中妙法寺日取上人像開帳

十八日 ○ 難司谷鬼子母神奉養卷院羅尼修引

○ 本不出む本佛も鬼子母神内神日今日高古日蓮上人舎式修引

○ 萩野田川上妙も鬼子母神奉養開帳 ○ 下谷院明も赤城河神奉引

○ 牛込四葉町南極院奉天宗主五卯己未南奉隔年引

○ 下谷通新町社奉養現祭 ○ 河日輪 ○ 沙美権も秋葉まつり ○ 栗鴨本村十羅刹女まつり

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

十九日 ○ 半込赤城明神祭 ○ 河日輪 ○ 沙美権も秋葉まつり ○ 栗鴨本村十羅刹女まつり

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

○ 今朝より大塚 本澤も七面宮奉遷 ○ 萩野河神法聖十九日院羅尼

一番 吉山小幡町同 小糸町 二番 南糸町 三番 久保町 四番 久保町表町

五番 久保町 六番 小糸町 七番 八番 九番 十番 十一番 十二番 十三番 十四番 十五番 十六番 十七番 十八番 十九番 二十番 二十一番 二十二番 二十三番 二十四番 二十五番 二十六番 二十七番 二十八番 二十九番 三十番 三十一番 三十二番 三十三番 三十四番 三十五番 三十六番 三十七番 三十八番 三十九番 四十番 四十一番 四十二番 四十三番 四十四番 四十五番 四十六番 四十七番 四十八番 四十九番 五十番 五十一番 五十二番 五十三番 五十四番 五十五番 五十六番 五十七番 五十八番 五十九番 六十番 六十一番 六十二番 六十三番 六十四番 六十五番 六十六番 六十七番 六十八番 六十九番 七十番 七十一番 七十二番 七十三番 七十四番 七十五番 七十六番 七十七番 七十八番 七十九番 八十番 八十一番 八十二番 八十三番 八十四番 八十五番 八十六番 八十七番 八十八番 八十九番 九十番 九十一番 九十二番 九十三番 九十四番 九十五番 九十六番 九十七番 九十八番 九十九番 一百番

○下谷子米稻新米の御禮 秋のあけりておれり

○麻布新土津明宮祭 列面長泉寺 此今概行 ○角巻村十二所権現祭礼 本分村 御て十二所と云ふ

○江法大師来 河原 福野井の外の三月の如し ○谷中寺の御禮 御禮あり

女百 ○深川接江妙寺と稻荷祭禮 子巻院丹尼修の御禮あり 神無と注す

○谷中又田寺 庵寺稲荷内津子巻院丹尼修の御禮あり

○子住大橋向橋戸町稲荷祭礼 ○麻布寺 本寺御禮あり

○今日より十一月廿八日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より廿九日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より三十日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より三十一日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月一日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月二日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月三日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月四日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月五日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月六日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月七日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月八日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月九日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月十日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月十一日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月十二日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月十三日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月十四日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月十五日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月十六日まで 深川八町本寺御禮あり

○今日より十二月十七日まで 深川八町本寺御禮あり

